

安心・安全なまちづくりをめざします

菰野町議会

民政クラブ会報

No. 2 2

二十一世紀にふさわしい社会とは、「社会全体が元気で、安心して生活でき、新たな感動を享受できる。」こんな社会の実現が、この日本に求められているのではないのでしょうか。

少子高齢化社会、情報社会を迎えた国内においては、失業率5%以上という数字に象徴される景気の悪化、不祥事、犯罪の増加、そして600兆円を超える借金財政など、政治、経済、社会の閉塞感で不安、不信を抱いている皆さんが多くあるのではと考えます。

菰野町に於いても例外ではありません。

私たち民政クラブは、生活者優先の活動を今後も進めてまいります。

私たち国民の多くが関心を寄せているのは、年金、医療などの社会保障制度改革についてであります。

若年層を中心とする国民の制度に対する不信感の増大、もう一つが少子高齢化の急速な進展を背景に制度の持続可能性への懸念です。持続可能な年金制度とするためには、将来の給付のための新しい財源の確保をどのように考えていくのか政治決断が、求められています。今まさに、衆議院選挙一色であるときに私たちが、判断をする時です。

民政クラブは、国に対して積極的に、意見書、決議案を提出し、菰野町民の安心、安全なまちづくりを進めていきます。

図書館等生涯学習

関連複合施設

整備基本方針

決定

図書館を、中心施設として整備すると共に、老朽化した郷土資料館を新たに併設して、郷土の貴重な歴史・文化を広く一般に公開し研究学習活動の拠点として整備されます。また町民が自発的に学習することの出来る中央公民館活動の拠点施設や、生涯学習の拠点になる施設整備が進みます。完成は十八年度の予定になっていきます。

私たち民政クラブは、建設に賛同するものでありますが、大きな予算で建設がされます。今後、菰野町の財政見通しが確立されなくては将来、菰野町の財政はひっ迫してまいります。

私たちは、公共施設計画にも示されている建物の生涯に掛かる費用の観点から維持管理費の低減に努める工夫、PFI（民間資本の導入）等の検討を積極的に行い、少ない経費で高いサービスを提供できる整備手法を検討するよう求めていきます。

菰野町は単独自治体として今後も健全財政を維持していかねばなりません。

最小限の建設費・最小限の維持管理費で運営ができるよう今後特別委員会等で議論していきたく考えています。

竹永小学校

建設設計業者決まる

公共施設整備計画に基づいて竹永小学校が建設されます。

生徒数の増加に伴って現在の校舎の北に建設がされるものです。

建設には地域の皆さんからの意見、学校からの要望等や、常任委員会・特別委員会の先進地視察での考え方等を考慮して、これからの学校にふさわしい校舎建設に向けて基本設計が示されます。

菰野町個人情報

保護条例制定

個人情報の適正な取り扱いに関し、必要な時効を定め、町の実施機関が保有する個人情報の開示等を請求する権利を明らかにすることにより、町政の適正な運営に資すると共に個人の権利利益を保護する条例です。

国民に安全な食糧を供給し、農民が安心して

農業を続けられる農政を求める決議

「幼保一元化」と

「保育所運営費一般財源化」に関する意見書

民政クラブは、賛成しました。

生活者優先の町政を進めます

9月議会質問要旨

大規模災害における

災害弱者への対応について

代表質問 矢田とみお

政府の中央防災会議では、ことし五月東海地震対策大綱を定めています。菰野町では災害時での障害者・高齢者・独居老人等に配慮した、災害弱者の皆さんへの避難体制・情報連絡体制の整備をして安心して暮らす事が出来るよう安全性の確保に努める必要があります。菰野町の支援体制はどのようなになっていますか。また災害弱者対応マニュアルを作る必要がありますと質問しました。

「答弁」 早急に支援体制の見直し、マニュアル作成を検討したいと思えます。
(矢田とみおホームページを開設しています。)

道路の管理について

一般質問 中山文夫

今年は雨が多く、道路や道路敷の雑草が目立ちました。菰野町は、観光の町と言われますが、草丸けの道路では、観光客の足が遠のくばかりでなく、何よりも、町民の生活に支障をきたします。四七〇名もいる総職員が、各職場への通勤途上で気づいた、道路の欠陥や、雑草のひどい箇所について、担当課へ報告することにより、町民からの苦情の前に、対処できるのではないかと考えます。大きな建物だけが「町の顔」ではありません。道路の管理など、身近な環境整備にも力を入れていただくよう、要望しました。

第二名神高速・477号道路の

進捗状況について

一般質問 伊藤やすのり

第二名神及び国道477号の進捗状況はどのようになっているかお伺いいたします。

「答弁」 第二名神は三重・滋賀整備促進県民会議や同盟会が結成されています。477号は高角インタールから四日市方面は本年度供用開始の予定です。菰野地内は鶴川原「ミルク道路」までを用地交渉中であります。

学童通学路の交通安全について

一般質問 諸岡ふみと

菰野町内の学校を見てもみますと、交通量の多い非常に危険な通学路が多く見受けられます。子供たちは、交通弱者です。尊い命を守る事は大人の責任です。学校、地域が、子供たちを交通事故から守るには菰野町としてどのように考えているかお伺いいたします。

「答弁」 西警察、交通安全協会とも協議をして対策を検討したいと思えます

観光案内について

一般質問 佐藤たかゆき

観光地には、その地にまつわる歴史や伝説を要約した「歴史こぼなしの碑」が建てられていて観光客に好評ですが、文字を読むのを面倒がられる人たちのために、ポランテアガイドを配置してはどうかと考えます。菰野町には、多くの史跡や名勝がありますが、そうした所のワンポイントガイドも有効ではないか、提案しました。

議会質問の申し合わせ

議会質問は各自一時間の範囲で質問をします。
(今回紙面上一問だけ簡潔に掲載をしています。)

木造住宅耐震化の促進について

一般質問 黒田まさる

「災害は、忘れたころにやってくる」とことわざにありますが、阪神淡路大震災、宮城県北部地震と大被害をもたらしています。菰野町としても今後予想される東海地震を想定して木造住宅耐震診断・耐震補強の促進を進め、今後の対応は。

「答弁」 県で進めている策定計画を参考にして今後検討を進めたいと思えます。
(ホームページ開設しています)

子供の通学途上の

安全確保について

一般質問 内田ちかね

子供が被害者となった事件が多く発生しています。菰野町における子供たちへの安全対策をお伺いいたします。

「答弁」 今後充分安全対策について検討をしていきたいと思えます。

矢田	とみお	93	-	40	45
佐藤	たかゆき	96	-	06	23
伊藤	やすのり	93	-	17	68
内田	ちかね	96	-	48	34
黒田	まさる	96	-	07	74
中山	文夫	94	-	34	63
服部	いさお	96	-	02	25
諸岡	ふみと	96	-	03	66
渡辺	昇	94	-	28	82

ご意見をお待ちして
います。